

公共事業再評価調書（農林水産部）

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 杉本 修一郎 (課長補佐 盛 健二)	内線 (4015)	4003
------	---------------------	---------------------	--------------------------	--------------	------

事業種目	ほ場整備	事業名		事業区域		総事業費	
		県営ほ場整備事業		今田西部		18億円	
所在地			事業採択年	着工年度	完成予定年	進捗率	
篠山市今田町			H3	H3	H15	80.2%	

事業の目的	事業内容
<p>当地区は、不整形田が多く、かつ用排水施設、農道が整備されておらず、耕作に多大な時間を要し、不安定な農業経営をしいられていた。ほ場整備により、耕地の区画形質の改善、用排水路や農道等の整備、農地等の集団化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。</p>	ほ場整備108ha

進捗状況	<p>本地区では、地区を縦断する県道(黒石・三田線)と河川(東条川)の改修事業等を一体的に整備している。これら関連事業の用地については、ほ場整備事業により創設(県道2.2ha、町道0.9ha、河川2.9ha)する計画になっているが、地権者と土地改良区等との調整に時間を要したため、事業工期が当初計画より大幅に遅れていた。しかし、用地の調整も平成11年度末に完了したことから、平成13年度に面工事を終え、平成15年度に事業完了の予定である。</p>
------	---

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性	<p>本地域は、水稻(コシヒカリ)を中心に、特産である黒大豆も多く栽培されており、食料生産基地として今後とも重要な地域である。しかし、当地区は、平均の現況区画が5aと小さいうえに、用排水路、農道は未整備であり、営農に多大な時間と労力を要しており、農業経営についても不安定な状況である。農業経営の安定、地域の活性化を図るためには、本事業により区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施する必要がある。</p>
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 投資効率 = 1.08 (採択基準は1.0以上) 所得償還率 = 0.253 (採択基準は0.4以下) 河川、道路の用地を創設するなど、生産基盤の整備に加え生活環境の整備も図っており、効率的な整備を行っている。
(3)環境適合性	<p>周辺地域で発生する公共残土の客土としての利用や、再生資材の積極的な活用などにより環境保全に努めている。</p>
(4)優先性	<p>営農に多大な時間と労力を要している本地区において、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、道路、河川事業と一体的に整備をすすめており、早期に完成する必要がある。</p>

農林水産部の考え方

再評価の結果	継続	左の理由	上記理由により事業継続が妥当である。
--------	----	------	--------------------